



北海道建青会 函館で全道会員大会

【函館】函館建青会（渡辺一史会長）が主管する第34回北海道建青会全道会員大会が27日、函館国際ホテルで開かれた。北海道建青会（同）を構成

する道内11の二世会組織と行政機関、建設関連団体などから約260人が参加。大会テーマを「価値創造―魅力ある産業へ、選ばれる企業へ―」とし、基調講演やパネルディスカッションを通じて建設業の価値や魅力の向上、企業のブランディングから若手経営者らが集まった

ングについて議論した。式典では北海道建青会の渡辺会長が今大会で4巡目のスタートを切るに当たり「5巡目が始まる

て、業界全体と個々の企業という2つの観点からの渡辺会長が今大会で4巡目のスタートを切るに

待の言葉を寄せた。期待の言葉を寄せた。

同社は、「つくるひとをつくる」という経営理念の下に人材育成に取り組む。森本専務は、会社の経営理念やミッション、行動指針などを示した理念集を全社員に常備させたり、誰もが会社の改善策を1件以上提案させる改善報告制度など社員が主体となって会社を成長させる施策を紹介。ブランディングについては専門領域の特化により他社との差別化を図っていることを伝えた。

魅力ある産業へ議論

担い手から選ばれる企業に

10年後を見据えたときに私たちが持続的な発展を遂げている姿をどう描いていくのか、その道しるべを大会を通じ見いだしたい」と抱負を述べた。

るとし、建青会の活動についてでも在り方を問い直し「担い手から選ばれる企業へ成長するための第一歩にしたい」と決意を表明した。

また全産業共通の課題である担い手確保に向け

来賓の佐藤信秋、足立敏之両参議院議員、後藤

社・大阪）の森本行則専務が講師を務めた。

社会基盤工学科教授らと交えてパネルディスカッションし議論を深めた。